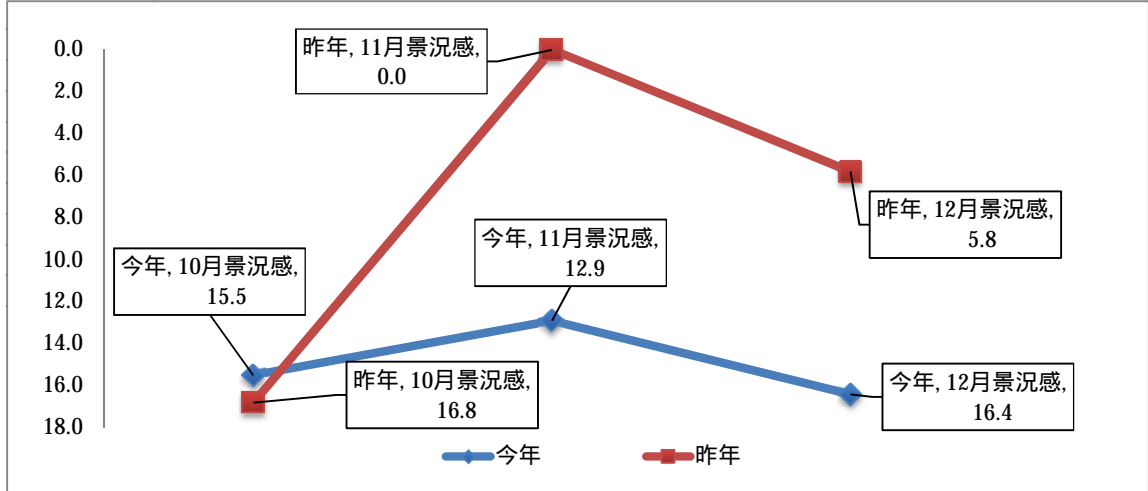


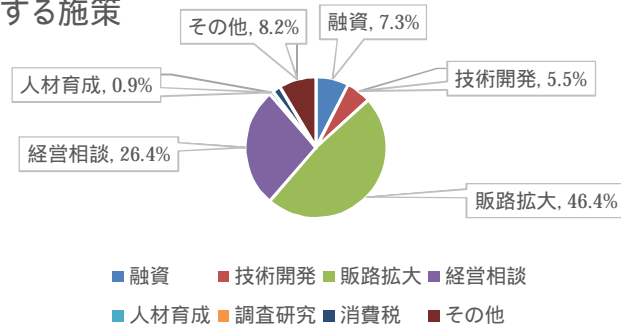
平成28年度会員景況調査(12月)

	10月景況感	11月景況感	12月景況感	2～3カ月先の景況感	H28年度アンケート回答企業数	
今年	15.5	12.9	16.4	11.8	H28.12	110件
昨年	16.8	0.0	5.8	35.2	H28.4～12	1,106件



期待する施策	割合 (%)
融資	7.3%
技術開発	5.5%
販路拡大	46.4%
経営相談	26.4%
人材育成	0.9%
調査研究	0.0%
消費税	1.8%
その他	8.2%

期待する施策



(会員の声)

- ・大手の建売住宅販売会社が多く、売上は減少傾向。(一般住宅管工業)
- ・住宅販売は大手が進出し建売が多く、採算が取れない。(不動産売買業)
- ・顧客はホームセンター等の大手へ流出してしまっている。(金物・雑貨・販売業)
- ・顧客層の年齢が高くなっており、来客頻度が少なくなっている。(婦人服小売業)
- ・受注量が減少し、受注単価も下がる傾向である。(金属加工業)
- ・受注量が昨年同期の10%減少。(フラッシュドア製造)
- ・年末にかけて通常月の倍の受注を抱えている。(電気工事業)
- ・12月は公共関連の受注で20%程度売上が増加。(管工事業)
- ・1月後半からの受注が少ない。例年であれば2月頃まで好調であるが、今年は半分以下である。(ビルメンテナンス業)
- ・加工賃の低下。受注自体も昨年の3分の2程度に減少。(金属加工業)
- ・受注は堅調だが、粗利が低い。(建築業)
- ・下請けに対して値引きが依然として求められている。(建設業)
- ・加工のみの売上なので利幅は良いが、取引先の言い値でないと受注できない状況。(金属加工業)
- ・材料持込みの現場は、資金繰りに苦慮している。(建設業)
- ・設備を入れ替えるにあたり、資金繰りにやや苦戦している。(洋菓子製造・販売)
- ・高齢者が多く、仕事のできる職人が少なくなりつつある。(建具製造業)
- ・他社からの手強い依頼が増加している。(建設業)
- ・旅客業のため、採用が難しい。(バス旅客運輸業)
- ・アルバイトのシフトを考えながら、急な宴会などに対応している。(居酒屋店)
- ・野菜類が高騰し、価格維持にやや苦戦。(飲食業)
- ・法事や祝い事など、地元での消費が少なくなった。(和菓子等小売業)
- ・今現在、後継者不在。底堅い受注があり、出来れば家族へ引き継ぎたい考えている。(小売業)
- ・看板類もネット注文に流れてしまっている。(看板製作業)